



最近のシンガポール自動車購入事情について

北陸銀行 国際部
シンガポール駐在員事務所
所長 上原 清志

1. はじめに

シンガポールは世界的に見ても物価が高い都市として有名ですが、自動車購入時にも想像以上の費用負担が発生することをご存知でしょうか？今回はシンガポールの自動車購入事情について少しご紹介したいと思います。

2. シンガポールの自動車購入は一苦勞

当地で自動車を購入する際には、大まかに下記①～⑤の費用が発生します。

費用項目	内容	例(「カローラルティス」購入の場合)
①OMV(車両市場価格)	いわゆる車両本体価格 (輸送コスト含む)	S\$19,500
②COE(新車購入権)	新車購入の権利証明 購入権を入札により価格決定	S\$93,500
③ARF(追加登録費用)	OMVの100%から	S\$19,500
④関税およびGST (物品サービス税)	関税はOMVの20% GSTはOMV+関税の8%	S\$1,870 (概算)
⑤車両登録費用	S\$350	S\$350

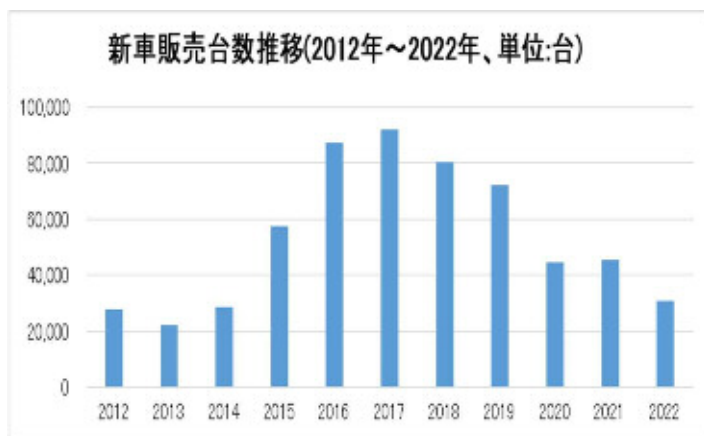
当地でよく見かけるセダン車のトヨタのカローラルティス1,600ccを例に見てみますと、日本では車両本体価格が200万円前後の車が、シンガポールで購入しようとするると合計で約S\$135,000かかることになり、円換算すると1,320万円にもなります！(98円/1S\$として)

ご覧のとおりCOEの負担が飛びぬけて大きく、高級欧州車だと購入総額も数千万円以上になります。日本からの輸入食品は日本の市場価格の1.5～2倍で売られているとよく言われますが、こと自動車に関しては現在6倍以上の価格になっています。このCOEは国土が狭いシンガポールで渋滞や環境対策目的で導入されています。毎月2回の入札でCOE価格が決められますが、排気量やエコカーなどでカテゴリが細かく定められています(詳細割愛)。いずれにしても、シンガポールでの自動車購入はまさに一大イベントです。

3. 新車販売台数データなど (出所：LTA(シンガポール陸運庁)から筆者作成)

(1) 新車販売台数の推移

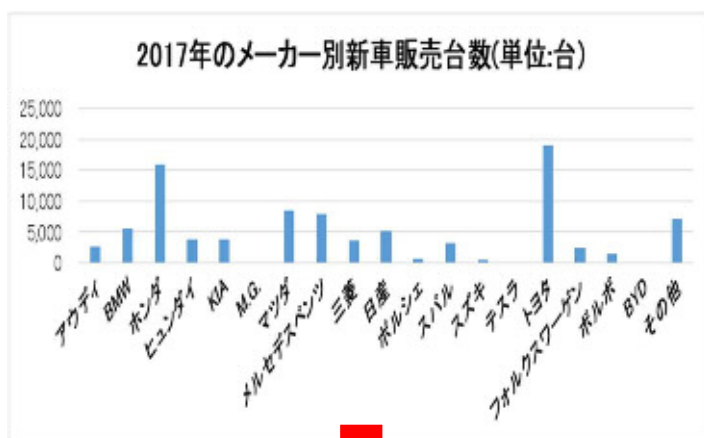
ここ10年の動きを見ると、2017年の約9万台をピークに新車購入は減少傾向です。2019年から2020年は新型コロナ感染拡大で大きく落ち込みましたが、2020年～2021年は海外に行けないシンガポールの富裕者層が高級輸入車購入に走ったため、底堅い実績となっています。2022年はCEOが高騰している影響から販売台数が下落しました(コロナ前は平均S\$50,000が相場)。



(2) メーカー別新車販売台数の変化

①2017年

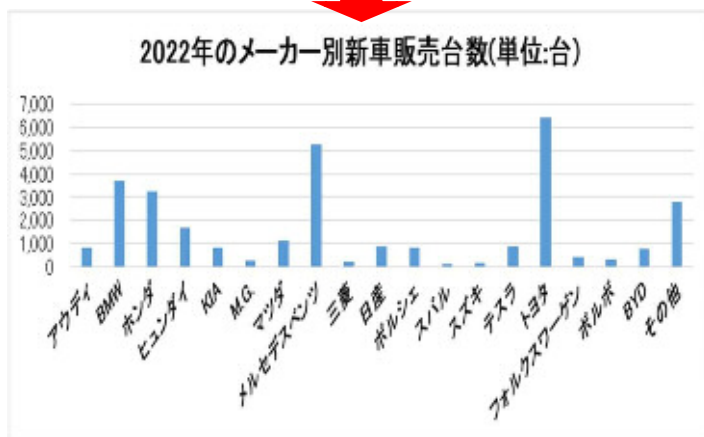
2017年ではトヨタ、ホンダ、マツダといった日本車が上位を占めています。メルセデスベンツやBMWといった高級欧州車も上位に名を連ねています。



②2022年

2022年の実績を見ると勢力図が大きく変化しています。トヨタが1位であることは変わりませんが、2位にメルセデスベンツ、3位もBMWと、ホンダなどの日本車メーカーを押しつけています。

また、テスラやBYDといったEVメーカーも販売を伸ばし始めています。



(3) 燃料タイプ別の販売シェア

2017年は、ディーゼルを含むガソリンが新車販売の約9割を占めていましたが、昨年では約4割にまで減少し、ハイブリッドやEVといったエコカーが大きくシェアを拡大しています。



◀ミニ情報▶高級車も自販機で！

下記写真はタワー型駐車場を活用した高級車向け自動販売機です。フェラーリやポルシェなどの高級車がいわゆるミニカーのように陳列されており、1階でタッチパネルを操作して気になる車を下ろし、その場で購入も出来ます。高級車が街中を普通に走っているシンガポールならではのビジネスです。



(いずれも筆者撮影)

4. おわりに

今回はシンガポールの自動車購入事情を駆け足でご紹介しましたが、EV(電気自動車)への関心も注目されます。EV普及には購入時インセンティブや充電スタンドの充実が必要不可欠であり、シンガポール政府は充電スタンドを2022年2月時点2,200カ所から2030年までに6万カ所に増やすという野心的な目標を掲げています。バスなどの業務用でのEV導入拡大はともかく、充電インフラ事情を踏まえると、当面はハイブリッドタイプを軸にエコカー転換が進んでいくと思われます。ASEANのEV化進展を占う意味でも、シンガポールの自動車販売動向については引き続きウォッチしてまいります。

＜ご注意＞文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp